行政報告(平成27年9月定例会)

町長から行政運営について報告がありました。

企画課	「計方略向み地会町進望、第画版」けと域」、広協かとら第取足長3行会総に戦に、域議のた「首「域議のを、「は、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対ので	第六次総合計画と中井町総合戦略については、共に平成27年度中の策定をめざし、庁内、庁外の検討組織により協議・検討を重ねているところです。 町民と行政の協働によるまちづくりを策定方針に掲げ、町民の皆さんと一緒になって、町の将来像について話し合う「なかい"まちづくりカフェ"」を7月25日に初めて開催しました。また、地方創生と人口減少の克服を目的とした「中井町総合戦略」を策定するため、本町にゆかりのある「産・官・学・金・労・言」の各分野有識者で構成する「なかい戦略みらい会議」を組織し、こちらも7月29日に1回目の会議を開催し、委員の皆さまから、異なる視点、異なる角度により町に対する提言をいただきました。 次に8月26日、「足柄上地域首長懇談会」が開催され、町からは役場周辺地区拠点整備、主要地方道平塚松田線のバイパス整備及び法人住民税法人割の一部国税化の制度廃止の3点について県へ要望いたしました。また、平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町・中井町で構成する「3市3町広域行政推進協議会」において、8月27日に黒川副知事を訪問し、3市3町に係る広域的な諸課題に対する要望を行いました。とりわけ、中井町からは、「主要地方道平塚松田線のバイパス整備」として、グリーンテク中井入口から平塚市土屋霊園入口までの区間を含む新たな道路網の「かながわみちづくり計画」への位置付けと早期の整備に向けた理解と支援についてお願いいたしました。
総務課	「総合防災訓練」	8月30日に各自主防災組織が主体となって、避難訓練、初期消火訓練、救出救護訓練、情報伝達訓練、避難行動要支援者安否確認訓練などを消防団、小田原市消防本部、神奈川県に参加いただき、総合防災訓練を実施いたしました。町全体では約2,100名の方が総合防災訓練に参加され、防災意識の高揚を図ることができました。
福祉課	「臨時福祉給付金・子育で 付金・子育で世帯臨時特例 給付金」	平成26年4月から消費税率が引き上げられたことに伴い、 所得の低い方や子育て世帯の負担を緩和するため、昨年に引き 続き、臨時的な給付措置として臨時福祉給付金と子育て世帯臨 時特例給付金の支給準備を進めております。臨時福祉給付金に つきましては12月10日まで、また、子育て世帯臨時特例給 付金につきましては、9月30日まで申請受付を行い、申請内 容を確認したのち、指定口座への振り込みを予定しております。

健康課	「食育推進計画」	平成24年度より推進を開始した「美・緑なかい健康プラン」と効率的かつ効果的な連携を図り、町民ひとり一人が生涯にわたって間断なく、食育を推進するための食育推進計画を策定しました。町民の皆さんが心身ともに健やかに暮らせるまちを目指して、積極的に食育活動を推進してまいります。
環境経済課	「秦野・中井 プレミアム商 品券事業」	本事業は、秦野市と中井町が連携して、8月より消費喚起による地域の活性化を図ることや、中学生以下の子供がいる子育て世帯に優遇措置を講じた販売総額7億2千万円の商品券の先行予約の受付をいたしました。 商品券については、来月10月15日から約3ヵ月間で、秦野市・中井町の取扱登録店で利用が可能となります。
上下水道課	「下水道事業 及び水道事 業」	下水道事業におきましては、現在市街化調整区域の整備を進めており、昨年度より着手した下井ノ口地区の継続的な整備と、新たに五分一地区の整備工事を本年度発注いたしました。 水道事業におきましては、安全で安定的な給水と災害に強い 水道施設の推進を図っていくため、井ノ口配水池の耐震診断業 務を発注いたしました。
教育課	「青少年育成 のつどい」と 「広域連携中 学生洋上体験 研修」	「青少年育成のつどい」を7月4日に農村環境改善センターで開催しました。オープニングで中井中学校吹奏楽部のすばらしい演奏を聴いたあと、講師にジャーナリストの江川紹子さんをお迎えし、「混迷する現代社会を想う」をテーマに記者として取材された体験を基に講演をいただき、有意義な講演会となりました。 次に、広域連携中学生洋上体験研修は、8月1日から3日にかけて行われ、1市4町1村(秦野市、中井町、大井町、松田町、二宮町、清川村)の中学生が東海大学の望星丸で2泊しました。船上等での集団生活を通じて様々な体験をし、交流を深めてまいりました。 また、初日の午後には、各首長等が参加し、洋上サミットが同時開催され、「広域ではぐくむ生きる力」をテーマに意見交換を行い、「地域の自然を守りながら、子供たちの心を育てるさまざまな自然体験の機会に努める」などの新たな洋上サミット宣言が採択されました。